

1. 目的

- JR中央本線によるアクセスが良好で観光資源が豊富な木曽路は近年多くのインバウンド客が訪れているが、同エリアから飯田市・南信州地域の観光地・宿泊施設に直接アクセスできる公共交通はなく、マイカーやレンタカーの利用に限られている。
- こうした課題の解決に向けて、令和8年6月から導入される長野県宿泊税を活用し、主要な交通結節点（中津川駅、伊賀良、飯田駅）と多くのインバウンド客が訪れる馬籠宿、豊富な宿泊施設を有する昼神温泉、リバーアクティビティや豊富な食文化を体験できる天龍峡を結ぶ定期周遊バスを整備し、観光誘客のための二次交通の充実を図るとともに、併せて伊那路、木曽路の連携による広域的な観光コンテンツ開発と情報発信を強化する。
- 長野県宿泊税は導入から3年で制度見直しを検討とされていることを踏まえ、見直しまでの間を定期周遊バスの実証運行期間と位置付け、期間中の乗車率や収益性、路線単独での運行継続の可能性、広域観光への波及効果等を分析し、その後の実装可否を判断する。

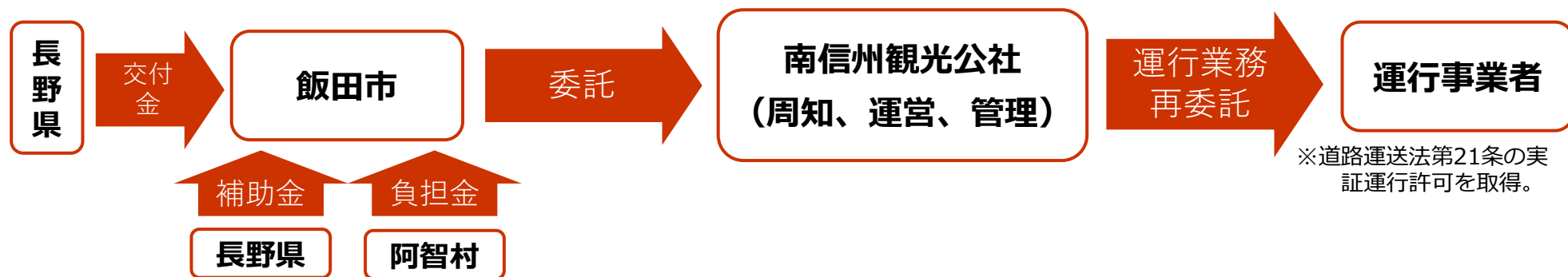
2. 定期周遊バスの概要

経路	中津川駅==馬籠宿==昼神温泉==天龍峡駅 ==伊賀良==飯田駅 ※上記行程を午前・午後の1日2往復運行（天龍峡駅は中津川駅⇒飯田駅方面のみ停車） ※事前予約に加え、当日空席があれば乗車可能とする
運行時期	R8. 9.1～11.30、R9.3.20～3.31の103日間 ※R9年度以降は4.1～11.30、翌年3.20～3.31の256日間を想定
料金(案)	中津川駅・馬籠宿 ⇄ 昼神温泉・天龍峡駅・伊賀良・飯田駅：片道1,500円



3. 事業実施スキーム

- 飯田市が事業実施主体となり、事業全体を南信州観光公社に委託し、バスの運行を同社から運行事業者に再委託する。バスの運行に当たり必要な許認可は運行事業者が取得する。
- 本事業は伊那路、木曽路の広域観光の促進を目的とするものであるため、長野県の宿泊税を活用した補助事業「観光目的のバス路線等による二次交通の確保支援事業補助金」を活用する。
- バスの運行経路上にある阿智村と連携・協働し取り組むため、阿智村にも負担いただく。
- 飯田市負担分へは、長野県から飯田市に交付される「長野県宿泊税市町村交付金」を充当する。



二次交通はあくまでも移動手段であり、当該手段を利用して実際に観光客が飯田市を訪れることが重要。

このため、定期周遊バスを生かした旅行商品の造成や周知広報等、バスの利用促進の取組と併せて、宿泊、飲食、各種体験・アクティビティなどを提供する事業者等と連携し、既存のコンテンツを面的に繋ぐことで、観光の目的地化を図る。